

令和 6 年度学校評価関係者評価結果を受けて次年度に向けた改善方策

世田谷区立瀬田小学校
校 長 日高 玲子

令和 6 年度学校関係者評価結果からの課題として指摘された内容について、それらへの対応と次年度の方針、方策を区の施策や本校から区に届けた教育課程と関連させ以下のようにまとめました。

1. 学習指導について

肯定的回答が【児童】 72～92%、【保護者】 65～80%で昨年度の結果を上回っており、概ね良好ではあるが、評価に若干の差がみられる。

- ・教員の黒板の板書や児童のノート・プリントへの記述、タブレットの活用法については、更に効果的な工夫を行っていく。
- ・昨年度に引き続き、観察授業や研究授業の事前・事後等の授業を全教員に公開し、授業力向上を図る。

2. 生活指導について

肯定的回答が【児童】 77%越え、【保護者】 64～75%、【地域】 83%越え、学校生活でのルールや交通ルールを守り安全に過ごせるよう引き続き、見守っていただきたい。

- ・毎月の生活目標について、全校朝会での周知とする。
- ・瀬田小学校「おもしろい 5 か条」の取組を今年度の重点目標に掲げ、全校児童の定着を図る。
- ・道徳や特別活動の授業を中心に、協働的な学びの中でルールやマナーの順守について考える機会を増やす。

3. 学校行事について

【児童】、【保護者】ともに昨年同様、肯定的回答が80%越えていている。令和 8 年 11 月完成予定の校庭工事期間中は、引き続き学び舎である瀬田中学校の全面協力のもと安全に実施を。

- ・瀬田スポーツフェスティバルは、学び舎である瀬田中学校の校庭を使用し、10月に開催。
- ・始業前の朝遊び、給食後の昼休みも瀬田中学校の校庭を開放していただき、校庭遊びを実施する。
- ・12月は音楽会をはじめ、ゲストティーチャーや体験学習等、新校舎を存分に謳歌する取組を検討する。

4. キャリア教育について

「自分の生き方や将来のことについて考える授業」、「中学校に関する情報提供」に対する肯定的回答が昨年を下回っている。中学生との交流の様子を定期的に発信していく必要がある。

- ・日常の学習を通し、自分自身の生き方について深く考える機会を積み重ねていくとともに、ゲストティーチャーや体験的な学習を積極的に取り入れていく。「振り返り」を大事にし、主体的な学びにつなげていく。
- ・クラブ、委員会、縦わり班活動等の異学年交流、高学年の中学校の授業や部活動見学、本校の学校行事に中学生ボランティアの参加を通し、身近な存在から将来を思い描く機会を増やす。
- ・学校ホームページやすぐる等で、取組について随時、配信する。

5. 教職員について

「丁寧な指導」、「相談のしやすさ」について、【保護者】肯定的な回答が昨年度を上回っている【児童】 90%以上、肯定的な回答ではあるが、「相談のしやすさ」がやや下がっていた。信頼関係の向上に努めてほしい。

- ・児童の悩みを担当が、一人で抱えるのではなく、生活指導や特別支援、教育相談等について、様々な委員会で児童の状況を全教職員で共有している。児童にも、どの先生（スクールカウンセラーも含め）に相談してもよいことを様々な場面で伝え、引き続き、安心して学校生活が送れるよう配慮する。

6. 学校全般について

【児童】の「学校は楽しい」、「学校が好き」は、高評価ではあるが、否定的回答をした児童もいることを忘れず引き続ききめ細かに向き合ってもらいたい。【児童】に「学び舎」の取組について、昨年度と変わらず低評価に留まっている。興味・関心が持てる交流活動を期待したい。

- ・新校舎での学びを楽しみにしている児童・保護者が多い。各教室が一人ひとりにとって安心できる場所であるよう、今後も学級経営の改善・向上に努める。
- ・保健室や相談室、校長室等の別室で一時的にクールダウンし、自分のペースを取り戻せるよう支

援する。

- ・学校ホームページ等で、「学び舎」の交流を積極的に紹介していく。

7. 学校からの情報提供について

【保護者】、【地域】ともに昨年度より肯定的な意見が多く改善が認められる。引き続き、円滑な情報提供を。

- ・学校だよりをすぐる配信と学校ホームページへの掲載に絞り、内容の充実とより一層丁寧な情報発信を行う。

8. 学校運営について

【保護者】の「保護者に重点目標を伝えている」は肯定的回答が66%と微減、「校長はじめ教職員は協力して教育活動に取り組んでいる」は、昨年同様肯定的意見が88%の高評価。【地域】の「地域の意見に対し、丁寧な説明・対応をしている」について、昨年度から大きく改善し、肯定的回答が87%。重点目標についてわかりやすい情報提供を。

- ・年度初めの保護者会にて、校長の経営方針を示し、丁寧に説明するとともに、毎月の学校だよりで学校の取組について紹介する。
- ・学校評価関係者アンケートの協力について、広く周知するとともに、リマインドを重ね、回収率を上げる。

9. 学校と家庭の連携について

【保護者】の「学校公開に進んで参加している」92%に対し、「学校行事、PTA、地域行事などに進んで参加している」は、63%、「重点目標の理解」については40%と低評価。これまで以上に保護者の方々との連携を深めてほしい。

- ・毎月のPTA運営委員会に管理職が参加し、PTA活動の取組や課題について共有する。
- ・毎月の学校運営委員会で地域に向けて情報提供し、学校行事や地域行事のサポートを依頼する。
- ・給食試食会等、保護者の興味関心に応える取組をPTAと企画する

10. 地域との連携について

【保護者】、【地域】ともに概ね高評価。地域の協力が学校活動にとって不可欠であるという認識が保護者にも浸透しており、学校、保護者、地域の連携を今後も期待する。

- ・学校協議会や合同学校協議会、学校運営委員会について、それぞれの役割と適切な連携を図る。
- ・毎月の学校だより「学校運営委員会報告」の欄を設け内容を簡潔に掲載する。

11. 学校の安全性について

【保護者】、【地域】共に昨年度より高評価。来年度からは新校舎の運用が始まるので、新たなルール決めが必要となり、もしもの時にこそ、地域と学校がそれぞれの役割を果たせるよう連携を。

- ・引き続き、改築工事の定例会議で確認した内容を学校運営委員会で報告、共有する。
- ・今後も水害時、震災時について、地域と連携し、避難訓練を開催する。
- ・学校の避難訓練では、第二避難所への避難や引き渡し訓練において瀬田中学校で実施する。
- ・新校舎でのルールをBOPやスポーツ団体等に周知・徹底し、安全管理に努める。

12. 本校の独自目標について

【児童】肯定的な回答が80%以上と高評価。学校・職員から児童への指導が上手くいっていると考えられる。新校舎での学校生活が児童に良い影響を与えることを期待する。【保護者】【地域】からも肯定的な回答が多く、一定の評価が得られていると思われる。今後も地域と保護者が学校とともに関わっていくことで高評価の維持が期待できる。

- ・今後もそれぞれの立場で「児童のためにできること」を考え、共有・協力していく。

13. 自由記述欄について

今年度は、試験的に自由記入欄を設けたことで、児童・保護者共に、様々なご意見をいただいた。

- ・学校全体への意見だけでなく、個別事象もあるため、全体公開はしないものの、お一人お一人の学校への要望、期待を具体的に把握することができた。真摯に受け止め、今後も児童・保護者の思いに寄り添った対応に尽力していく。

13. まとめ

今年度は、アンケートの協力依頼について、情報告知の改善を図ったことにより、回答率が大幅に向上した。そのような状況の中で、昨年同様に高評価となったことは素晴らしい。

- ・学校評価関係者アンケートの協力について、1学期（6月）、2学期（10月）の学校だよりにて協力依頼をかけ、締め切り間際まで「すぐる」での周知、リマインドを重ね回収率の向上に努める。